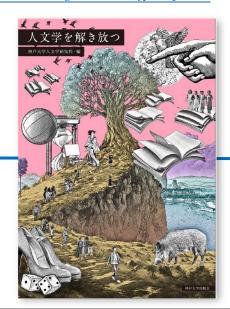
神戸大学出版会

https://www.org.kobe-u.ac.jp/kupress/

人文学を解き放つ

神戸大学 人文学研究科 編 令和5年4月発売

こういうこと やってもいいんだ、人文学 !
かけがえのない 人生の真っただ中にいる きみたちへ。
神戸大学の (現・元) 教員たちが贈る 38 本のメッセージと
最前線の 人文知への誘い。
「今」をともに いきるために!



はじめに 人文学を解き放つ 樋口大祐

1章コンフリクトを追跡する

- 1「移動という日常」から考えてみること 佐々木祐
- 2原発に抵抗した人びとの記録に向き合う 吉川圭太
- 3 ソ連のチェコスロヴァキア軍事介入 藤澤潤
- 4『ウクライナ避難民』としてのロマ 市原晋平
- 5「炎上」は誰の責任なのか 若狹優

2章「雰囲気」を探求する

- 1雰囲気学ことはじめ 久山雄甫
- 2雰囲気のふたつの領域 -アトモスフィアとアンビエンス- 大橋完太郎
- 3 沈殿としての雰囲気 安倍里美

3章「ことば」を深堀りする

- 1「記紀」は否定すべきものか 記された歴史から「今」を読む 古市晃
- 2日本漢字音の歴史と未来 石山裕慈
- 3アラビア語の史料を読む楽しみ 伊藤隆郎
- 4「見えない法則」を見いだす喜び 田中真一
- 5ことばの意味について考える -フェイクニュース、真理、スケール性 澤田治

4章「ことば」と社会をつなぐ

- 1港町アテネ・古代ギリシアの国際社会 佐藤昇
- 2訴え続ける「文学」への信 中畑寛之
- 3日本の社会と大学 社会を動かし未来を考える 白鳥義彦
- 4 共感力と沈黙の罪 南コニー
- 5 紛争体験と笑い 不条理な現実から生まれる冗談 酒井朋子
- 6「日常」が終わる前に 梶尾文武

5章 ジェンダーを解きほぐす

- 1結婚、その歴史と比較を通して 今を見つめる 平井晶子
- 2 女性と社会 ヴァージニア・ウルフからの100年越しのメッセージー 奥村沙矢香
- 3 中国少女の大冒険 中華民国の文学を読む 濱田麻矢
- 4「産むこと」は特別なのか? 「親であること」を考えなおす 中真生

6章「古典」を読みかえる

- 1われわれの「民主主義」を疑え 茶谷直人
- 2「中国文学」をぶっこわせ 早川太基
- 3シェイクスピア、日本で「死後の生」を楽しむ 芦津かおり
- 4名画のはらむ新解釈-カラヴァッジョを読む 宮下規久朗
- 5移りゆく「日本人」のアイデンティティ 斎藤公太

7章流動/変化をつかまえる

- 1日常と文芸に見る、不穏な"予感" 有澤知世
- 2 玉ねぎの皮を剥く 小寺里枝
- 3 土地に刻まれた記憶から学ぶ 原口剛
- 4 多重所属者と海港の文学史 樋口大祐
- 5 変転する都市の景観 菊地真
- 6 反転の力学 平川和

8章「こころ」を旅する

- 1時間の社会学 梅村麦生
- 2脳内アクセルの探求 野口泰基
- 3 社会的孤立の可視化と予測 柳澤邦昭
- 4 科学技術と心のありか 新川拓哉

おわりに 思考を飼い慣らされないために 濱田麻矢

A5判並製・248ページ 定価 1,980円(税込)

発行:神戸大学出版会 神戸市灘区六甲台町2-1 神戸大学社会科学系図書館内 TEL078-803-7315 FAX078-803-7320

発売:神戸新聞総合出版センター 神戸市中央区東川崎町1丁目5-7 神戸情報文化ビル9F TEL078-362-7138 FAX078-361-7552